

●熊野神社大祭

熊野神社氏子奉賛会（橋爪地区）



- 開催時期：10 月第 1 土日
- 開催場所：熊野神社
犬山市大字橋爪字巾屋敷 53
- 行事概要：
豊年満作を願って神楽屋形が囃子の演奏に合わせて地区内を巡行し、神社で獅子舞を奉納する。夜には屋形に提灯が灯される。
祭りの起源は不詳。現在の神楽屋形は明治 31 年に新調されたものと伝わる。

●山王大権現夏祭り

塔野地区（塔野地地区）



- 開催時期：7 月第 1 日曜
- 開催場所：山王大権現
犬山市大字塔野地字青木
- 行事概要：
塔野地の南組、中組、北組から社の前に神楽屋形が曳き込まれ、神事は各組が順番に神楽と獅子舞を奉納する。直会の後、神楽屋形は各組へ帰る。
祭りの起源は不詳。社は郷土の守神様として祀られている。

●虫鹿神社秋季大祭

虫鹿神社御神楽保存会（前原地区）



- 開催時期：10 月第 1 日曜
- 開催場所：虫鹿神社
犬山市大字前原字向屋敷 62
- 行事概要：
神楽屋形が町内を巡行したのち、神社で獅子舞が奉じられる。五穀豊穡に感謝し、収穫の恵みを祝う祭礼。
祭りの起源は不詳。神社は寛永 12 年（1635）の入鹿池築造に伴って前原に移築され、地元の氏神様として崇拝されている。

●鬼祭り

天道宮神明社氏子（前原地区）



- 開催時期：10 月第 1 日曜
- 開催場所：天道宮神明社
犬山市大字前原字天道新田 1
- 行事概要：
神楽屋形の巡行に合わせ、赤い面をかぶった鬼と獅子が登場する。赤鬼は子どもを追い、手に持った櫛で子どもの頭をたたく。この櫛で頭をたたかれると病気をしないという謂われがある。
祭りの起源は不詳だが、明治時代には行事が行われていたと伝えられている。

●蝗除祭・だんだん申せ

五郎丸神明社だんだん申せ保存会（五郎丸地区）



- 開催時期：7 月第 1 日曜
- 開催場所：五郎丸神明社
犬山市大字五郎丸字新田組 67
- 行事概要：
蝗除祭は「虫送り」と呼ばれ、害虫駆除と豊作を願う行事で、同時に行われるだんだん申せは疫病退散を願う行事である。神事後、子どもたちが藁人形や神札竹を持って地区内を周り、最後に地区境に藁人形を立てて終了する。

●鳴海杵神社例大祭

高橋町内会・成海町内会（羽黒地区）



- 開催時期：10 月第 2 日曜
- 開催場所：鳴海杵神社
犬山市大字羽黒字成海郷 109
- 行事概要：
高橋郷と成海郷から神楽屋形が曳き出され、神社拝殿には 8 頭の獅子頭が置かれる。神事に続き、囃子の演奏に合わせた獅子舞が奉納されたあと、神楽屋形と獅子は蔵へ帰る。祭りの起源は不詳。

●白山神社本祭り

安戸町内会（羽黒地区）



- 開催時期：10月第1日曜
- 開催場所：白山神社
犬山市大字羽黒字南郷 67

●行事概要：

祭りは前日夕方の試楽祭から翌朝の上祭まで 3 日間にわたって開催される。本楽祭は万灯花で飾った神楽屋形が神社に奉納され、御嶽様や馬頭観音などを巡回する。

祭りの起源は不詳だが大正期にはすでに執り行われていたとの言い伝えがある。

●諸鐺神社秋祭り

本郷・原・荒井・裏之門北・勝部焼野・一色浦・中町・横町（楽田地区）



- 開催時期：10月第2日曜
- 開催場所：諸鐺神社
犬山市字裏之門 221

●行事概要：

諸鐺神社の祭礼の起源は寛文年間（1661～1672）と伝えられ、昔は居山 2 基も出されていた。

現在は、本郷、原、荒井、裏之門北、勝部焼野、一色浦、中町、横町から神楽屋形や神輿などが集結し、神前では囃子とともに神楽屋形と獅子舞が奉納される。

●大縣神社例祭

二ノ宮稚児山保存会（楽田地区）



- 開催時期：10月10日（稚児山曳行は前後の土日）
- 開催場所：大縣神社
犬山市字宮山 3

●行事概要：

稚児山曳行日を本楽祭、前日を試楽祭とする。かつて旧暦 8 月 1 日であった例祭日は、古代、大縣大神が本宮山に天降りされた日と伝えられる。

稚児山には役者が搭乗し、曳行に合わせて囃子を演奏する。試楽祭には稚児山に提灯が灯される。